

# 2026年 新年のごあいさつ

謹賀新年

大磯町長 池田 東一郎



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。昨年末にはいろいろな方から「1年があっという間だ」という声を伺いました。こどもの頃は1年1年がもっと長く感じたように思いますから、たぶん1年が年々短く感じるのは年齢を重ねたからなのでしょう。しかし、年齢というよりは年輪を重ねてこれからも人間としてもっと大きく成長したいものと思います。

あっという間といえば、私の町長としての任期も早くも3年が過ぎました。3年前、町の人口減少に歯止めをかけることを町政の最重要課題に位置付けて町長に就任した私は、まずは「今の」町民の皆様がもっと安心して暮らせるまちづくりを進めるこことこそ、この町に引っ越して来られる方が増えていくことにつながると考え、「町民まんなか」即ち町民の皆様に寄り添った政策を進めてきました。

具体的には、子育て支援では小学校給食費無償化、18歳までのこども医療費無償化や「大磯式部活動」などを実現したほか、お年寄り向けには介護予防「通いの場」や健康診断受診率向上に取組み、65歳以上の介護保険料は神奈川県内で一番安い金額になりました。また、「わくわく楽しいまちづくり」ということで、夏の花火大会や「大磯まつり」といった楽しいイベントの実施にも力を入れています。

こうした政策は着実に実を結んでいるようで、昨年9月発表の民間会社のアンケート調査では、住み続けたい街（駅）ランキングで大磯駅が県内第1位、首都圏第4位という高評価を得ました。しかし、これで安心とは行きません。この町の人口は未だじわじわと減り続けています。大磯町は他市町と違い駅前にマンションが建てられませんから住宅供給が足らないようです。そこで、空き家対策が重要になります。そして、中学校の給食再開にもメドを付けたいところです。

今年は「うま年」、私の任期は4年目、第4コーナーということになります。ムチが入りますね馬もっともっと大磯町が輝くよう全力で駆け抜けまいります。今年1年の町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

慎んで新年のご挨拶を申し上げます

大磯町議會議長 清田 文雄



町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より大磯町議会に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年7月、大磯町議會議長に就任し、重責を担う立場として町民の皆様の信頼に応えるべく、議会運営に努めてまいりました。議会は、毎年行政の提案する予算・決算の審査・承認等をはじめ、町政のチェック機能を果たすとともに、町民皆様の声を行政に届けるという重要な役割を担っています。

そこで、昨年から、現在予算・決算報告を主とした年2回行っている議会報告会のほかに、常任委員会ごとに皆様の地域にお伺いし、直接ご意見を伺うという「議会意見交換会」を新たに企画しました。昨年12月には虫窪地区に総務建設常任委員会、高麗地区には福祉文教常任委員会が出向き、地域の皆様と貴重な意見交換をさせていただきました。本年も順次皆様の地区にお伺いしたいと願っております。

以上のような新たな取組みを踏まえた中で、今後も透明で開かれた議会運営に努め、町民の皆様の声を丁寧に受け止め、行政と連携し安全・安心なまち・持続可能なまちづくりを目指し、大磯町議會議員全員で取り組んでまいります。

本年も引き続き大磯町議会にご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

